

やまりん新聞



創刊10周年御礼

日頃は弊社をご利用頂きありがとうございます。お蔭様で「やまりん新聞」は、10周年となりました。ご愛読の方々には深く感謝いたします。

これからも改善を加えつつ、新たな紙面を目指して頑張っていく所存でございます。今後共よろしくお願い致します。

高付加価値金属製ねじ取扱い拡大中

○二相系ステンレス(SUS329J4L)：

高強度・高耐食 新時代の定番！！

・2相系ステンレス鋼：

オーステナイト系組織とフェライト系組織が混合した金属組織を有し、両者の利点を兼ね備えたステンレス鋼で、海水など高濃度塩化物環境において優れた耐孔食性、耐応力腐食割れ性がある。



写真1 SUS329J4L
ボルト類

ねじの種類：

- ・六角ボルト、（写真1）
- ・六角ナット、平ワッシャー、スプリングワッシャー

○チタン：

軽くて強い・非磁性のチタン製ねじ

・純チタン：

N, C, H, Fe, Oなどを含んでいるので、純度の高いチタンということになる。O, Feの含有量により1～4種と区別され、1種はO, Feの含有量が少なく、最も柔らかい。強度と加工性のよい2種がよく使用される。

ねじの種類：

- ・六角穴付ボルト類、ホーローセット（写真2）
- ・ボルト類（写真3）
- ・小ねじ類（写真4）
- ・ナット類、ワッシャー類（写真5）
- ・タッピングねじ（写真6）



写真2 チタン 六角穴付きねじ類



写真3 チタン ボルト類



写真4 チタン 小ねじ類



写真5 チタン ナット, ワッシャー類

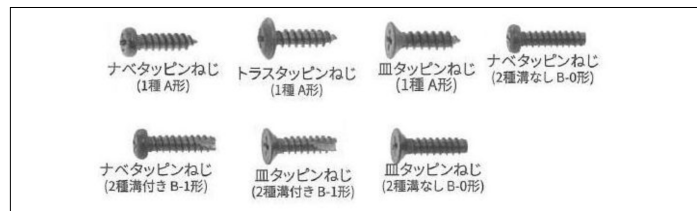


写真6 チタン タッピングねじ類

・64チタン：

チタンにアルミが6%、バナジウムが4%含まれていて、純チタンよりも高強度、高延性を持つ。難削材で加工しづらい。

ねじの種類：

- ・六角穴付ボルト

○ハステロイ相当品：

ニッケル・クロム・モリブデン合金でタンクステン及び極微量の炭素及びケイ素を含有。高耐食・高耐熱合金！

・ALLOY-C276：

耐酸性、耐熱性、塩化物溶液に強い合金で、還元性及び酸化性環境で優れた耐食性を示す。

ねじの種類：

- ・ALLOY-C22：

C276と同様の性質でC276よりも酸化性環境での耐食性、耐孔食性、耐すき間腐食性が優れている。

ねじの種類：

○インコニル相当品：

ニッケル・クロム・鉄合金で高温下での耐酸化性がある。

・ALLOY-600：

高温における種々の厳しい腐食環境で使用できる。広範囲にわたる耐食性にも優れている。

ねじの種類：



写真7 A-C276 各種ねじ類



写真8 A-C22 各種ねじ類



写真9 A-600 各種ねじ類
（左下へ）

（右上から）

・ALLOY-601：

固溶強化したニッケル・クロム・鉄合金でアルミニウムとチタンを添加したもの。

耐酸化性、耐浸炭性と耐浸硫性を有し、耐酸化性と耐スケール剥離に優れている。

ねじの種類：

カスタム仕様のねじ変換アダプタ2

今回は、お客様のご要望にもとづき、製作させていただいた「カスタム仕様のねじ変換アダプタ」を5点ご紹介いたします。

記事最後のURLに掲載しているADCMFシリーズのカスタム対応形です。お客様のご要望内容は、

1. Rc3/8"めねじ(管用テーパねじ)とUNC1/2"おねじの組み合わせ(写真11)

2. M30めねじとM8おねじの組み合わせ(写真12)



写真10 A-601 六角ナット

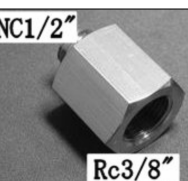


写真11 変換アダプタ1

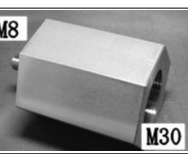


写真12 変換アダプタ2

3. UNC1/4"めねじとM6おねじの組み合わせ(写真13)

4. M8めねじとM10おねじの組み合わせ(写真14)

5. M16めねじとUNC5/8"おねじの組み合わせ(写真15)

1. の材質は、ステンレス(SUS304)で流体を通すため中央に貫通穴をあけています。

2. の材質は、ステンレス(SUS304)で一気にM30からM8に変換しています。

3. の材質は、真鍮(C3604)でインチ系からメートル系へのポピュラーな変換です。

4. の材質は、ステンレス(SUS304)でねじ径が近いメートルねじどうしの変換です。

5. の材質は、ステンレス(SUS304)でメートル系からインチ系への変換です。



写真13 変換アダプタ3

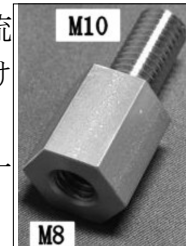


写真14 変換アダプタ4

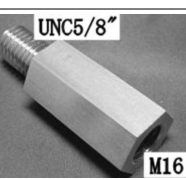


写真15 変換アダプタ5

<https://www.ymzcorp.co.jp/ym11/nejiadapter.html>

往年の蒸気機関区を再現する

平成26年頃の本誌に「往年の蒸気機関区を再現する」という記事の連載をしております、あれからもう5年の年月が経ちました。ジオラマの存在感は大分薄れましたが、まだ事務所でドンと構えております。

このたび第二世代の転車台がほぼ完成し、ジオラマに設置しました。



当初設置していた写真16 当初設置していた下路式転車台

簡単に言うと写真16のように橋桁の下部分に線路が乗っている) だったのですが、これを上路式(橋桁の上に線路が乗っている。写真17)に変更しました。現在市販されているNゲージの転車台は下路式ですから、今回の転車台はオリジナルモデルとなります。橋桁の全長は実際のスケールに合わせて、当初のものより短くしましたので、よ

りリアルな転車台になっています。

写真17では見えませんが、転車台ベース盤の裏に転車台用のオリジナル駆動装置があり、これを使用することで、各自がオリジナルの転車台を作ることができます。ちなみに写真17の転車台橋桁はレーザーカットした紙で作りました。

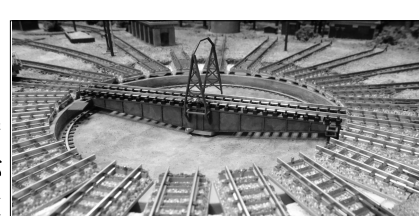


写真17 新しく設置した上路式転車台

今回の転車台のポイントは駆動装置です。手動スイッチによる回転だけでなく、別基板との間で通信(UART)によるコントロールも可能です。さらに、別途アプリ製作と専用基板が必要ですが、Bluetoothを用いて、スマホ、タブレットからのコントロールが可能で、自作派のモーターには面白いグッズです。モーターを募集しています。ご意見、お問合せも受付中です。

下記の弊社フェイスブックにカラー写真を掲載しておりますのでご覧ください。

弊社フェイスブック <https://www.facebook.com/ymzcorp>